

委員会審査

総務教育常任委員会

質疑 くらぶちこども天文台設置のスケジュールは。
答弁 9月に工事をスタートし、11月30日に天体ドームを設置した。今後、天体望遠鏡の設置や外構工事を行い3月中旬頃にはオープンできると考えている。
質疑 特別教室空調設備設置工事の対象学校は。
答弁 全ての小・中学校を対象とし、各学校の特別教室3室を予定している。設置する教室は、学校と調整しながら決めたい。



特別教室に設置する空調設備

市民経済常任委員会

質疑 林間学校「榛名湖荘」ができたことにより、はまゆう山荘の利用者減への対応は。
答弁 平成29年度の林間学校の利用先変更に伴い、過去に利用のあった団体や長寿会への営業強化に努めた結果、28年度とほぼ同じ利用者数で推移している。
質疑 福祉医療費助成条例の改正の変更点は。
答弁 福祉医療費助成を受けている重度心身障害者および高齢重度障害者で、非課税世帯以外の人については、入院時の食事療養費として1食460円の自己負担が生じる。

都市集客施設建設特別委員会

質疑 高崎芸術劇場の料金設定の考え方は。また、利用料金を減免できるようにした理由は。
答弁 類似施設と比べ、かなり安い料金設定である。これは、音楽センターの利用者に急激な負担増とならないようにするとともに、他施設より有利な料金設定とすることで質の高い公演の誘致などの貸館事業に結びつけるためである。また、全国の類似施設では、運営上の理由や災害時の一時的な避難場所としての使用などに備えて、減免規定を設けることが多い。本市でも同様の趣旨で減免できる規定とした。

各常任委員会、都市集客施設建設特別委員会において、付託された議案などを審査しました。
 質疑・答弁の一部を掲載します。

保健福祉常任委員会

質疑 箕郷第五保育園改築工事において、園の規模および改築の特徴は。
答弁 定員が150人で、市内では比較的大規模な園となる。地域と調和した外観で、子どもが自然を感じられるような設計とした。
質疑 市内認定こども園の数と今後の移行見込みは。
答弁 平成30年4月1日現在、認定こども園は38施設で、移行していない施設は私立の保育所35施設、幼稚園15施設である。検討している園もいくつかあるが、施設の意向で進められている。

建設水道常任委員会

質疑 ウエストパーク1000が高崎駅西口ペDESTリアンデッキとつながったが、その後の利用状況は。
答弁 ウエストパーク1000は、駅西口ペDESTリアンデッキと平成30年2月6日に接続し、駐車台数は29年4月から11月までは約10万台、30年4月から11月までが約12万5千台で、約2万5千台、26%の増加となった。
 接続による効果は大きいと考えている。



ペDESTリアンデッキ

市議会の予定

月	日	時間	内容
2月	22日(金)	午後1時	開会、会期の決定、施政方針など
	25日(月)	午後1時	議案の提案説明
	26日(火)	午後1時	総括質疑
	27日(水)	午後1時	一般質問
	28日(木)	午後1時	一般質問
3月	1日(金)	午後1時	一般質問
	4日(月)	午後1時	一般質問
	7日(木)	午前10時	総務教育常任委員会
	8日(金)	午前10時	保健福祉常任委員会
	11日(月)	午前10時	市民経済常任委員会
	12日(火)	午前10時	建設水道常任委員会
	午後3時	都市集客施設建設特別委員会	
	午後1時	委員長報告、提出議案等の議決、閉会	

質疑 横田基地配備のオスプレイが本市上空で訓練に使用されることが懸念される。事故率が高い上、超低空飛行や夜間訓練も計画されている。市民の安全と住環境を守る立場からどのように対応するのか。
答弁 オスプレイが本市上空を飛行する可能性はあると考えている。本市としては、住宅密集地の上空を飛行しないこと、飛行時間や高度など市民生活に支障を来すことのないよう、安全対策等の徹底を防衛省に対して要請していく。

質疑 市内には築30年を超えた学校施設が増えている中、校舎の老朽化の現状をどのように把握し、取り組みを進めているのか。
答弁 専門家による点検に加え、職員による現地調査で建物や設備の実態把握に努めている。本年度もトイレの洋式化工事をはじめ、維持補修費を増額し給水管の更新、外壁改修、屋上防水や教室改修など大規模な改修にも取り組んでいる。



伊藤敦博
 日本共産党
 オスプレイ訓練への対応
 校舎の老朽化対策

質疑 共働き世帯が安心して子育てするための支援策は。また、出産を機に離職した人への再就職支援は。
答弁 保育所の整備に加え、病児・病後児保育事業、一時預かり事業、小児救急医療体制の整備などに取り組んでいる。さらに子育てなんでもセンターでは、子育て支援の拠点として子育てと仕事の両立相談や再就職に向けた求人情報の提供、社会保険労務士によるセミナーを開催している。今後ともニーズに合わせた子育て

支援策を実施していきたい。
質疑 労働人口の減少による市内中小企業の人材確保に向けた支援は。
答弁 中小企業の多くは十分人材を確保できていないことから、就職につなげる事業として、市内の大学生を対象とした地元企業の見学ツアーや企業の合同説明会、経営者による経営戦略講座などを開催している。また、市庁舎1階で地元若者応援宣言企業を紹介する取り組みなどを行っている。



後藤彰
 新風会
 子育て
 中小企業
 支援



議会を見てみよう

傍聴席で

本会議の傍聴は、議会棟5階にある傍聴受付で、住所・氏名を記入して入場してください。
 傍聴席は、車椅子用の2席を含め78席ありますので、ぜひお出かけください。



インターネットで

本会議の様子は、ライブ中継や録画配信をされています。市議会ホームページの「議会中継」からアクセスしてご覧ください。
 また、スマートフォンやタブレット端末からもご利用いただけます。



平成30年 市議会の状況

平成30年中に開催された本会議や委員会等の開催状況と視察の受入状況をお知らせします。

本会議

区分	会期	会期日数	会議日数	一般質問者数	傍聴者数	インターネット中継閲覧数※
第1回定例会	2月22日～3月16日	23日	8日	21人	116人	1,989件
第2回臨時会	5月14日	1日	1日	—	1人	139件
第3回定例会	6月8日～6月22日	15日	6日	24人	139人	1,078件
第4回定例会	9月5日～9月26日	22日	6日	18人	68人	1,054件
第5回定例会	11月29日～12月13日	15日	6日	25人	171人	741件
計		76日	27日	88人	495人	5,001件

※1月16日現在の閲覧数です。

委員会等

区分	会議等開催回数	付託議案等の数	
		議案	請願
常任委員会	44回	141件	7件
特別委員会	11回	9件	—
議会運営委員会	32回		
各派代表者会議	15回		
広報委員会	6回		

視察受け入れ

本市が先進的に取り組んでいる事業について全国から視察がありました。

受入団体数	61市区町村議会等
受入人数	457人

主な視察内容	件数
高崎アリーナ	11件
空き家緊急総合対策	10件
まちなか商店リニューアル助成	9件
介護SOSサービス	4件
はいかい高齢者支援システム	4件